

「アウトリーチ（訪問支援）研修」に係る研修計画書

【1. 機関・団体概要】

機関・団体名	特定非営利活動法人 わたげの会
機関・団体代表者 (役職・氏名)	理事長 秋田 敦子
所在地	〒982-0001 仙台市太白区八本松2丁目9-25
電話番号	022-248-7918
FAX番号	022-248-7918
メールアドレス 本研修担当者	watage@info.email.ne.jp 担当者名：秋田 敦子、秋田 憲一
HPアドレス	http://watage.or.jp
研修実施場所（所在地と異なる場合のみ記載）	〒
設立目的（概要で可）	障害者、高齢者、不登校やひきこもりの経験者に対して、その家族も含めたネットワークを構築する事業及び、当事者の社会参加、自立を支援する事業を行い、お互いが支え合って、生きがいを持って生活していくことができる地域社会の構築に寄与することを目的とする。
職員数	全職員数 23名（常勤 13名 / 非常勤 10名）
機関・団体におけるアウトリーチの特徴や特色を記載	わたげの会は平成9年の設立当初から訪問支援を行い、同会のフリースペースと協働しながら、ひきこもり当事者の自立に向けた支援を展開している。当法人は当事者支援と同様、家族支援についても重点的に取り組んでいる。訪問支援においても、事前の家族面接や父親・母親教室において家族支援を十分に行い、支援者と家族が協力しながら当事者と関わっていく環境づくりに努めている。
機関・団体で運営している相談・支援機関名	厚生労働省認定事業 せんだい若者サポートステーション
例（●●サポートステーション）	障害者小規模地域活動センター 第二わたげ
（●●ひきこもり地域支援センター）	共同生活援助 わたげ寮
	ひきこもり自立支援寮 メゾンわたげ

【2. 平成26年度中のアウトリーチの実績概要】（訪問件数、対象、支援方法等を箇条書きで記載）

※2月末日現在

訪問件数：77件

対象：10代から40代を中心としたひきこもり当事者及び家族

支援方法：専門の支援員が家庭を訪問し、当事者や家族と継続して関わることで、本人の社会参加につなげていく。当事者と良好な関係が構築できた時点で、状況を見ながらピアサポーターが同行する場合もある。

【3. 過去3年間における国又は地方公共団体の委託事業や自主事業等】

（委託事業・自主事業名等やその概要について箇条書きで記載）

- ・厚生労働省認定事業 せんだい若者サポートステーション
（カウンセリングや各種講座への参加を通して、就職に向けたプログラムを実施）
- ・仙台市障害者小規模地域活動センター事業・仙台市ひきこもり青少年等社会参加促進事業
（不登校・ひきこもりの若者が通所するフリースペースを提供）

【4. 過去2年間における子ども・若者の支援に係る研修実績】

（他機関・団体職員の研修受入を行った実施概要＜研修概要、他機関・団体名、期間、人数＞を箇条書きで記載）

＜平成25年度＞

ひきこもり支援者研修

機関名：宮城県精神保健福祉センター

期間：12月～1月にかけて2回実施

人数：4名

＜平成26年度＞

アウトリーチ研修

機関名：特定非営利活動法人 ハートツリー

期間：5日間

人数：1名

【5. 「アウトリーチ（訪問支援）研修」に係る担当者、受入条件、研修内容等】

（次頁の【例】を参考に記入してください。）

	「アウトリーチ研修」実施上の役割（職名）	常勤・非常勤の別	氏名	・関連保有資格 ・アウトリーチの経験年数
1	統括責任者	常勤	秋田 敦子	わたげの会理事長 不登校・ひきこもり支援歴16年
2	実施責任者	常勤	秋田 憲一	第二わたげ施設長 不登校・ひきこもり支援歴11年

受入条件	
受入可能な日程 （平成27年9月28日～ ～ 平成28年1月16日の間）	平成27年9月28日～平成28年1月16日の間の5日間 ※研修生の希望を取り、調整の上で研修期間を決定する
受入可能な人数 （原則年間4名を 上限とする）	1回1名、合計4名まで
保有資格の要否、 その他の受入条件	特になし
研修期間中にアウトリーチを行う予定回数	1回程度

研修内容	
	※下記の「初日」～「最終日」までの内容は過去に実施した実地研修を参考とした予定となり、同行訪問やプログラム等の参加・開催に併せて随時変更となります。
研修全体の概要	訪問支援の同行や当法人が運営する通所型施設において当事者へのアプローチ方法や家族支援等への取り組みを中心に研修を実施する。
初日	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・当法人の業務内容説明 ・各事業運営についての説明
2日目	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援現場での同席 ・家族教室の見学 ・訪問支援についての事前学習

3 日目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問支援（これまでの支援経過について同行スタッフより説明） ・ 訪問後、訪問（支援）記録の作成補助と振り返り ・ フリースペースでの利用者対応
4 日目	<ul style="list-style-type: none"> ・ フリースペースでの利用者対応 ・ スポーツ行事への参加
最終日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実地研修の振り返り ・ 訪問支援についてのまとめ ・ 連携、ネットワークについての説明
研修内容の配分	講義 1:利用者対応 3 : 演習 1
研修生の宿泊について	
備考欄	作業やスポーツのプログラムがあるので、動きやすい服装、運動靴持参